

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)	
個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="2"/> 事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="c"/> a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="c"/> a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="2"/> 主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="a"/> a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="c"/> a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="3"/> 成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="3"/> 投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="3"/> 菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 <input type="text" value="3.4"/> 総合評価 <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="3"/> 総合評価判断理由 (事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 行政区運営補助事業については、財源の用途を定めていないため、今後、明文化し、財源の有効活用を図る。 次に、放送施設等(街灯・掲示板・放送施設)設置助成事業のうち、地区設置の街灯を増やすことで安全なまちづくりの推進が図られ、また、地区設置の掲示板・放送施設を整備することで情報体制の充実が図られる。	
【Action・Plan】 今後の事務事業の方向	
今後の方向 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小 <input type="text" value="c"/>
上記の方向をとる理由及び展開方針	放送施設等設置助成事業については、自治体によっては公設公営もあるが、予算の節減という観点から、引き続き地区助成事業として展開する。
事業の課内優先度	A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない
委員会意見	助成事業であるため住民ニーズを把握するとともに、全体的な目標や将来像を明確にすべきです。また、要望に対する設置以前に行政として事業の必要性を明確にすべきです。 活動指標は街灯・掲示板の設置数で問題ないと考えますが、成果指標は設置数ではなく、住民の満足度を表すような指標を検討してください。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)																			
個別評価	<p>(1)妥当性の評価</p> <p>事務事業の対象や目的が妥当であるか？</p> <p>上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table></p> <p>上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table></p> <p>役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table></p> <p>住民ニーズ <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table></p> <p>事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table></p> <p>町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table></p> <p>〔説明〕 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	b	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																
	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																
	b	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																
b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																	
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																	
<p>(2)貢献度の評価</p> <p>主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？</p> <p>上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table></p> <p>事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table></p> <p>緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table></p> <p>取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table></p> <p>代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table></p> <p>〔説明〕 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>	b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	b	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	b	b	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																	
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																	
b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																	
b	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																	
b	b	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																	
<p>(3)有効性の評価</p> <p>成果指標から判断して成果をあげているか？</p> <p>成果の達成度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table></p> <p>成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table></p> <p>〔説明〕 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>	a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																	
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																	
<p>(4)効率性の評価</p> <p>投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？</p> <p>費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>c</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table></p> <p>事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table></p> <p>コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table></p> <p>〔説明〕 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>	c	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
c	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																	
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																	
a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																	
<p>(5)地域性の評価</p> <p>菊陽町らしさが反映されているか？</p> <p>町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table></p> <p>町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table></p> <p>〔説明〕 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	b	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																	
b	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																	
<p>単純平均 <table border="1"><tr><td>3.0</td></tr></table></p> <p>総合評価 <table border="1"><tr><td>3</td><td>3</td></tr></table></p> <p>総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること)</p> <p>バス利用者は平成19年10月に大幅なダイヤ改正を実施し、利用目標を達成した。しかし、運賃収入とのバランスは前年度比で改善されたが更なる改善を必要とする状況で、利用実態に即した運行による、コスト削減及び利用者増が課題である。</p>	3.0	3	3																
3.0																			
3	3																		
【Action・Plan】 今後の事務事業の方向																			
<p>今後の方向</p> <p><table border="1"><tr><td>1</td></tr><tr><td>2</td></tr></table></p> <p>1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了</p> <p>(「2」を選択した場合)</p> <p>a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小</p> <p><table border="1"><tr><td>c</td></tr></table></p>	1	2	c																
1																			
2																			
c																			
<p>上記の方向をとる理由及び展開方針</p> <p>平成19年度において10月大幅なダイヤ改正を実施し、役場とさんふれあを軸とした従来路線のほか南小中学校の登下校のため新規路線を追加した。ダイヤ改正の結果、前年度比で利用者は増加し、コスト削減に成功した。ダイヤ改正は、年度途中に実施したため、今年度は更なる利用増、コスト削減が見込める。</p>																			
<p>事業の課内優先度</p> <p>B A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない</p>																			
<p>委員会意見</p> <p>成果指標が乗車人数のみではやや疑問が残ります。住民ニーズを把握できるようアンケート等を実施し、住民ニーズに適合できる、よりきめ細かい路線の開設などについて、今後さらに努力してください。</p> <p>料金設定に対し事業者、利用者との調整事項を明確にしておかないと、行政負担増の場合の対応に問題が生じる恐れがあります。</p> <p>事業としては高齢化に伴い将来も重要と思われまます。</p> <p>実施から現在までの業態分析等一度総括を行い、主として利便性、効率性の観点から、真に住民から理解されるような見直しが必要です。</p>																			

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 3 2	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a b a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が b b a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか b c a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ b b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a b a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か b b a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 3 2	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 b b a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 b c a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 b b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a b a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 b b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 2	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い b c a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 b b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 b b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 総合評価 3.0 3 2	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) かなりの集客力があるのはいいが、目的の異なる夏まつりの中でさんさんコンサートを開催しているため、事業本来の目的が達成されているかどうか不明確でない。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	2 2 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	c c
-------	--	--	--------

上記の方向をとる理由及び展開方針
 目的が十分に達成されるようコンサートの開催の方法等を検証していく。

事業の課内優先度 A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない

委員会意見
 事業の目的などを今一度精査し、他の関連事業などとも合わせて、事業の組み立てを考えていくべきです。また事業の目的を考えると、成果指標については、集客数だけでなく、他の指標も設定すべきです。夏祭りとコンサート等の事業分離を進めるべきです。

評価対象年度	事務事業評価表					整理番号	- 1 [1] (4)		
平成19年度									
担当課名称	総合政策課				課長名	松本 東亞			
事務事業の名称	協働の仕組みづくり推進事業				事業期間	平成18	~	平成21	
新規・継続の別	2	1 新規	2 継続	臨時・経常の別	2	1 単年臨時	2 時限臨時	3 経常	
総合計画の体系	目指す町の姿	- 1 住民と行政が協働で創るまち			基本施策	[1] 住民参加の推進			
	主要施策	(4) 協働によるまちづくりの推進			事務事業の名称	協働の仕組みづくり推進事業			
予算科目	款	2 総務費			項	1 総務管理費			
	目	1 一般管理費			事業	6 協働の仕組みづくり推進費			
事務区分	2	1 法定受託事務 2 自治事務		根拠法令等	菊陽町総合計画(後期基本計画)				

[Plan・Do] 目的・目標に沿った事務事業の実施

事業の目的	対象(課題・問題を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	行政主体の公共サービス	行政だけでは対応できない住民の多様なニーズに対し、行政主体の公共サービスの提供から、住民、団体、事業所等と行政との協働による公共サービスの提供へと転換し、住民満足度の向上、住民自治意識の高揚、行政コストの削減を実現するための協働の仕組みを構築する。
目的達成の方法 (どんな方法で事業目的を達成するのか記入する)	協働の仕組みを構築するために、協働のまちづくり住民ワークショップ、コミュニティ検討委員会、協働の仕組みづくり職員プロジェクトチーム、協働の仕組みづくり策定委員会を設置し、これらの検討組織で、学識、団体等代表、住民等の意見を採り入れながら、協働のルールや行政の体制づくり、コミュニティの活性化、住民等と行政の役割分担、協働可能な事業等について整理した指針又は条例等を策定する。	

指 標			平成19年度(実績)			平成20年度	平成21年度	平成22年度 (総合計画最終年度)	平成23年度
事業の実績(活動指標)		単位	目 標	実 績	達成率	目 標	目 標	目 標	目 標
	検討会等開催数	回	7	7	100.0%	14	8		
	意見書提出数	件	1	1	100.0%	2			
事業の目的の成果を測る指標(成果指標)		単位	目 標	実 績	達成率	目 標	目 標	目 標	目 標
右欄 (下げる 指標は 「下」と記 入する)	検討会開催数	回	7.0	7.0	100.0%	14.0	8.0		
	指針(条例)策定数	件	0.0	0.0	0.0%	0.0	1.0		
成果指標の設定理由 =====> (上記指標を成果指標として設定した理由を記入すること)			指針(条例)策定までの指標としては、仕組みづくりを行っていることを示す検討会等の開催数を成果指標として設定した。 また、この事業の目的は、協働の仕組みを構築することであるため、その基本となる指針(条例)の策定数を設定した。						

各年度のコスト(千円)			平成19年度(実績)			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
区 分			予 算	実 績		予 算	計 画	計 画	計 画
< 設定単価 > (年6,500 千円) (年1,200 千円) (年間1,936 時間)	事業費	国・県支出金							
		起債							
		その他							
		一般財源	1,382	330	960	800			
		合 計	1,382	330	960	800	0	0	
区 分			計画時間	実績時間	金額	計画時間	計画時間	計画時間	計画時間
人件費	常勤職員		1,800	1,548	5,197	1,160	1,000		
	非常勤等				0				
区 分			目 標	実 績		目 標	目 標	目 標	目 標
総 事 業 費			7,425	5,527		4,855	4,157	0	0

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	a	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	b	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	a	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	a	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	b	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
a	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 3 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>c</td><td>b</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	c	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
a	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
c	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>c</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	c	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
b	c	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 2	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>c</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	c	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	c	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	a	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
a	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.2 総合評価 3 3	総合評価判断理由 (事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 平成19年度は、計7回の住民ワークショップを行い、意見書の作成まで完了し、平成20年度からは新たにコミュニティ検討委員会、職員プロジェクトチームを立ち上げ、それぞれ意見書を作成し、それを受けて協働の仕組みづくり策定委員会で条例あるいは指針等の策定に向けての検討を始める予定であり、事業の第1段階は終了し、第2段階へと入ったところである。一方、当初のスケジュールより遅れていること、また、職員や住民へはほとんど浸透していないといった現状がある。																			
【Action・Plan】 今後の事務事業の方向																				
今後の方向	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> 1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 </td> <td style="text-align: center;"> (「2」を選択した場合) </td> <td style="text-align: center;"> <table border="0"> <tr><td>→</td><td>a 拡大</td></tr> <tr><td>→</td><td>b 統合</td></tr> <tr><td>→</td><td>c 方法の改善</td></tr> <tr><td>→</td><td>d 民間の活用</td></tr> <tr><td>→</td><td>e 縮小</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr><td>c</td></tr> </table> </td> </tr> </table>	<table border="1"> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table>	1	2	1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了	(「2」を選択した場合)	<table border="0"> <tr><td>→</td><td>a 拡大</td></tr> <tr><td>→</td><td>b 統合</td></tr> <tr><td>→</td><td>c 方法の改善</td></tr> <tr><td>→</td><td>d 民間の活用</td></tr> <tr><td>→</td><td>e 縮小</td></tr> </table>	→	a 拡大	→	b 統合	→	c 方法の改善	→	d 民間の活用	→	e 縮小	<table border="1"> <tr><td>c</td></tr> </table>	c	
<table border="1"> <tr><td>1</td></tr> <tr><td>2</td></tr> </table>	1	2	1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了	(「2」を選択した場合)	<table border="0"> <tr><td>→</td><td>a 拡大</td></tr> <tr><td>→</td><td>b 統合</td></tr> <tr><td>→</td><td>c 方法の改善</td></tr> <tr><td>→</td><td>d 民間の活用</td></tr> <tr><td>→</td><td>e 縮小</td></tr> </table>	→	a 拡大	→	b 統合	→	c 方法の改善	→	d 民間の活用	→	e 縮小	<table border="1"> <tr><td>c</td></tr> </table>	c			
1																				
2																				
→	a 拡大																			
→	b 統合																			
→	c 方法の改善																			
→	d 民間の活用																			
→	e 縮小																			
c																				
上記の方向をとる理由及び展開方針	事業の方向としては、各委員会の位置づけを明確にし、それぞれの検討課題を整理し、最終的な成果として協働の仕組みをまとめるということの問題ないが、そのステップとして、広く住民、職員の関心を集め、協働の意識を浸透させていくことが重要である。																			
事業の課内優先度	A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない																			
委員会意見	協働の仕組みづくりについて、何のために仕組みを作るのか明確にすべきです。住民は何をすべきかわからないので、町の悩み、住民に担ってほしいこと等を例に挙げるなどもっと分かりやすいものにすべきです。委員の公募は、住民の新鮮な意見を聞けるメリットがあります。到達目標に対するあり方や方向性が不明確なため、本格的に論議ができるよう早急に策定委員会の進め方や課題を整理すべきです。																			

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)	
個別評価	<p>(1)妥当性の評価</p> <p>事務事業の対象や目的が妥当であるか？</p> <p>上位施策との目的関連性 <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</p> <p>上位施策の目的達成手段が <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</p> <p>役割が薄れてないか <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</p> <p>住民ニーズ <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</p> <p>事業の対象は妥当か <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</p> <p>町の関与が必要か <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</p> <p>【説明】 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>
	<p>(2)貢献度の評価</p> <p>主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？</p> <p>上位施策への貢献度 <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</p> <p>事務事業の重複の有無 <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</p> <p>緊急性 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</p> <p>取り止めの影響 <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</p> <p>代替事業の有無 <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> a a 代替の事業はない b 代替の事業はある</p> <p>【説明】 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>
	<p>(3)有効性の評価</p> <p>成果指標から判断して成果をあげているか？</p> <p>成果の達成度 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</p> <p>成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</p> <p>【説明】 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>
	<p>(4)効率性の評価</p> <p>投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？</p> <p>費用対効果の度合い <input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</p> <p>事務時間短縮の可能性 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</p> <p>コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</p> <p>【説明】 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>
	<p>(5)地域性の評価</p> <p>菊陽町らしさが反映されているか？</p> <p>町らしさの反映度 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</p> <p>町にとっての必要性 <input type="checkbox"/> b <input checked="" type="checkbox"/> b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</p> <p>【説明】 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)</p>
<p>単純平均 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4</p> <p>総合評価 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 4</p> <p>総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること)</p> <p>高齢者等のバス利用者にとって、路線バスは必要であり、路線の維持を図るためには事業の継続が必要。</p>	
【Action・Plan】 今後の事務事業の方向	
<p>今後の方向</p> <p><input type="checkbox"/> 1 現状で継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 見直して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 3 廃止又は休止</p> <p><input type="checkbox"/> 4 終了又は完了</p> <p>(「2」を選択した場合)</p> <p>a 拡大</p> <p>b 統合</p> <p>c 方法の改善</p> <p>d 民間の活用</p> <p>e 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> c</p>	
<p>上記の方向をとる理由及び展開方針</p> <p>道路運送法が改正され、乗合バス事業などの路線の廃止が許可制から届出制に緩和され、今後、不採算路線からの撤退が予想される。また、高齢化の進展等により、生活交通としての公共交通を確保する必要性はますます高くなっていくものと予想される。一方、モータリゼーションの進展は環境面においても、エネルギーの大量消費問題や地球温暖化問題の深刻化など、憂慮すべき事態を招きつつあり、その側面からも公共交通機関の必要性は高まるものと思われる。</p>	
<p>事業の課内優先度</p> <p>A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない</p>	
<p>委員会意見</p> <p>バス路線の再編などバス事業者、県、近隣市町などと連携をとりながら、巡回バスとの関連性を明確にし、合理的で住民の使いやすい利便性の高い路線の開設と集約を進めるべきです。また、成果指標の設定についても疑問です。</p> <p>公共交通機関利用者への利便性の確保とともにエネルギー削減効果を上げるためにも見直したうえで維持拡大を図る必要があります。なお近い将来、熊本空港へのリムジンバス等アクセスの運行計画について、関係自治体と協議することが望ましいと思われます。</p> <p>朝晩の通勤通学者には必要ですが、昼間の路線減はやむを得ないと思われます。また、高齢者にとってはバスは移動手段として重要なものです。</p>	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が a a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ a a a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か b b a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 a b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 a a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 2 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 c b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 1 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 4 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い a b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 a b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 a b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.6 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 本町は、人口の急増及び保育に欠ける児童の増加が著しい状況の中で、保育所の入所児童が増え続けており、待機児童の年々増加している状況にある。今年度は私立保育所の開所で定員増を図ったが、待機児童の解消までは追いつかない程、厳しい現状である。よって、事業の各個別評価においても有効性については低い評価であるが、それ以外の評価は高い成果を上げている。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	d
上記の方向をとる理由及び展開方針	第三次菊陽町行政財政改革大綱により、菊陽町保育所運営検討委員会により、民営化も一つの選択肢として答申が盛り込まれたことにより、平成20年度中に民営化検討委員会(仮称)を立ち上げて今後検討を行う予定である。		
事業の課内優先度	A	A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない	
委員会意見	待機児童の解消に向けて、積極的に取り組んでください。 また、保育園の民営化については現状を十分に把握するとともに、住民の声も聞きながら推進してください。		

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.8 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) この事業は、子育て世代のニーズが十分であり、本町の元気で活力ある町づくりとして地域性も高く、主要施策として緊急性もあるため、全体的に高い評価となっている。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 1 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/>
-------	---	--	--------------------------

上記の方向をとる理由及び展開方針
 本町は、人口の急増及び核家族化、保護者の就労形態等の多様化に伴い、一時的な保育ニーズも年々需要が高まっており、子育て支援の施策として重要であるため、引き続き事業を継続する必要がある。なお、平成19年度からは私立保育所(光の森キャロット保育園)でも事業を実施している。

事業の課内優先度 A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 一時保育の理由と実態をある程度データ化する必要があります。成果指標が、事業延べ利用人数で適切なのか疑問です。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 4 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 4.0 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) この事業は、保育所入所保護者の就労形態の多様化による保護者のニーズも非常に高く、子育て支援の主要施策として緊急性、必要性あり、全体的に高い評価となっている。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 1	1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/>
上記の方向をとる理由及び展開方針	保護者の核家族化、就労形態等の多様化に伴い、延長保育のニーズも年々需要が高まっており、子育て支援の施策として重要であるため、引き続き事業を継続する必要がある。なお、平成19年度からは私立保育所(光の森キャロット保育園)でも事業を実施している。			
事業の課内優先度	A	A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない		
委員会意見	利用者ニーズを把握できるようアンケート等実施してはどうでしょうか。また、そのニーズに対応する成果指標の設定も検討する必要があります。 家庭と職場の支援体制についても把握する必要があります。			

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段か a a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ a a a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 a a a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 a a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 a b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い a b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 a b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.8 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) この事業は、県の補助事業として、子育て世代の経済的支援を実施しており、少子化対策の重点施策であるため保護者のニーズ、貢献度も高い評価となっている。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 1 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 ('2'を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-------	---	--	--

上記の方向をとる理由及び展開方針

子育てで支援及び少子化対策の主要施策としての事業であるため、今後より一層の支援を図っていく必要があるため、現状のとおり継続とする。

事業の課内優先度 A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない

委員会意見

町の地域(校区、区)における要支援者の割合を調査する必要があります。他事業同様、アンケート等の実施により、成果の把握等を検討すべきです。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段か a a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a b a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ a a a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a b a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 b b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 b b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 b b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い b b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 b b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.6 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 利用者数も伸びてきており成果指標も達しているため。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 1 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-------	---	--	--

上記の方向をとる理由及び展開方針
 延べ利用者数も316人と年々伸びており、事業のニーズもできてきているため今後も引き続き継続する。

事業の課内優先度 B A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 支援理由の調査をまとめ、データ化する必要があります。また、利用者のニーズを把握することも必要です。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が a a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ b b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 b b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 b a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 b b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 2 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い b b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 c c a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b c a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 b b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 b b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.2 総合評価 3 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 利用者数は年々伸びてはいるが、補助事業の要件として開設日数や配置人数などが定められており、コスト削減等が難しいため効率性の評価が低くなり3とした。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 1 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-------	---	--	--

上記の方向をとる理由及び展開方針
 国においても重要事業として次世代育成支援対策交付金の対象事業となっており、町としても子育て支援サービスの充実のため引き続き事業をおこなう。

事業の課内優先度 B A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 子育てに悩んでいる母親支援の施策として有効と思われます。母親達が集い、意見交換ができるような場を設ける努力をさらに続けてください。
 利用できる機会拡大のための取り組みに努めてください。

評価対象年度	事務事業評価表					整理番号	- 1 [1] (2)		
平成19年度									
担当課名称	健康・保険課				課長名	阪本 修一			
事務事業の名称	人間ドック等健診奨励補助事業				事業期間	～ 永年			
新規・継続の別	2	1 新規	2 継続	臨時・経常の別	3	1 単年臨時	2 時限臨時	3 経常	
総合計画の体系	目指す町の姿	- 1 健康でいきいきと暮らせるまち			基本施策	[1] 健康の保持・増進			
	主要施策	(2) 保健予防体制の充実			事務事業の名称	人間ドック等健診奨励補助事業			
予算科目	款	6 保健事業費			項	1 保健事業費			
	目	2 疾病予防費			事業	人間ドック健診奨励補助事業			
事務区分	2	1 法定受託事務 2 自治事務		根拠法令等	菊陽町人間ドック健診奨励補助金交付要綱				

【Plan・Do】 目的・目標に沿った事務事業の実施									
事業の目的	対象(誰を・何を・課題を)				意図(どういう状態にしたいのか)				
	満35歳以上の国民健康保険被保険者				自分の健康状態をチェックする総合健診を受けることにより、隠れている病気を発見するためだけでなく、生活習慣病の予防や健康の維持増進を図る。				
目的達成の方法 (どんな方法で事業目的を達成するのか記入する)	人間ドックの健診費用を助成する。								
指 標			平成19年度(実績)			平成20年度	平成21年度	平成22年度 (総合計画最終年度)	平成23年度
事業の実績(活動指標)		単位	目 標	実 績	達成率	目 標	目 標	目 標	目 標
	受診者数	件	500	537	107.4%	500	500	500	500
	助成金額	線絵	20,704	20,562	99.3%	12,500	12,500	12,500	12,500
事業の目的の成果を測る指標(成果指標)		単位	目 標	実 績	達成率	目 標	目 標	目 標	目 標
右欄 (下げる 指標は 「下」と記 入する)	下	一人当たり療養諸費	千円	360.0	412.0	87.4%	360.0	360.0	360.0
成果指標の設定理由 =====> (上記指標を成果指標として設定した理由を記入すること)			人間ドックの健診費用を助成し、病気の早期発見し生活習慣病を予防することを目的とし、医療費抑制対策事業としているので、一人当たり療養費諸費を成果指標とした。						
各年度のコスト(千円)			平成19年度(実績)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
<設定単価> (年6,500千円) (年1,200千円) (年間1,936時間)	区 分		予 算	実 績	予 算	計 画	計 画	計 画	
	事業費	国・県支出金							
		起債							
		その他							
		一般財源	20,704	20,562	12,500	12,500	12,500	12,500	
	合 計	20,704	20,562	12,500	12,500	12,500	12,500		
区 分		計画時間	実績時間	金額	計画時間	計画時間	計画時間	計画時間	
人件費	常勤職員		20	67	20	20	20	20	
	非常勤等		12	7	12	12	12	12	
区 分		目 標	実 績	目 標	目 標	目 標	目 標		
総 事 業 費		20,704	20,637	12,575	12,575	12,575	12,575		

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a b a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が a b a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a b a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ a b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a b a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 3 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a b a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 b a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 a b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 a b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 b b a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 a b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 a b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 4 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い a b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 a b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 1	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 a c a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.8 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 人間ドック健診による疾病の早期発見は重要であり、健康に対する自己管理や医療費の抑制が行われているとがんがえられるため「4」と評価した。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	2 2 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小 c c
上記の方向をとる理由及び展開方針	「老人保健法」が「高齢者の医療の確保における法律」に平成20年4月に変更され施行されることにより、特定健診・特定保健指導が医療保険者に義務づけられる。については、特定健診等実施計画の策定により内容を見直す。	
事業の課内優先度	A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない	
委員会意見	必要な事業であることは理解しますが、特定診断との役割分担を明確にするなど、事業の目的を明確にさせるべきです。 活動に対する成果が容易に判るよう、活動指標と成果指標の関連性を検討するべきです。	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a b a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が a b a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a b a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ a b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a b a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a b a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 a c a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 a b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 a b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 a b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 4 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い a b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 a b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 a b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 4	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 a a a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 4.0 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 医療費の助成により、保護者の医療費負担が軽減され、疾病の早期発見・早期治療により子育て支援が図られている。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	2 2 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小 a c
上記の方向をとる理由及び展開方針	対象者を現在の小学3年生から小学6年生までに拡大することを検討しているため。	
事業の課内優先度	A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない	
委員会意見	対象年齢の引き上げについては、医療費負担削減と財政負担増のバランスを考えながら検討してください。医療費助成の抑制と対象年齢引き上げに対するコスト削減のために、保護者の一部負担を求める必要もあるのではないのでしょうか。	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	b	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
b	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	a	a	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	b	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
a	a	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
a	a	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
b	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
b	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	a	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	a	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 4	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	a	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
a	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.6 総合評価 4 4	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) リサイクル活動が定着し、資源ごみ814,486kgとビン類63,299本が回収されごみ減量化につながっている。また、地域の活動費として有効利用されている。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	1	(「2」を選択した場合)	a 拡大	<input type="checkbox"/>	1	b 統合		c 方法の改善		d 民間の活用		e 縮小
1	(「2」を選択した場合)	a 拡大		<input type="checkbox"/>									
1		b 統合											
		c 方法の改善											
		d 民間の活用											
	e 縮小												

上記の方向をとる理由及び展開方針

貴重な資現物をリサイクルすることにより大切な地球の資源を守り、住民一人ひとりが環境に関心を持ち、皆で減量化に取り組むことが必要であり、今後モリサイクル活動を推進しごみ減量化を図っていく。

事業の課内優先度 A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見

リサイクルは、ゴミを減量するための有効な手立てであり、引き続き推進していくことを願います。現在、自治会や子供会等で収集活動を行っていますが、今後は活動回数を増やし家庭ゴミのリサイクル率を更に向上する努力や、ゴミを発生させないための啓発活動にも力を注ぐ必要があると考えます。マイバックの利用は、ゴミを発生させないための有効な手段の一つであり、更なる利用推進を期待します。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 b a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が a a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか b a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ b a a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 3 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 a a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 a a a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 b b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 b a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 b b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 4 4	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い a a a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 a a a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 4	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 a a a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a a a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.6 総合評価 4 4	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 生ごみ処理機の普及により、各家庭から出される生ごみは処理容器で処理されるため生ごみとして出されず、生ごみの減量化に効果があった。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	2 1 現状で継続 2 2 見直して継続 3 3 廃止又は休止 4 4 終了又は完了 ('2'を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	c c
-------	---	--	--------

上記の方向をとる理由及び展開方針
 今後もごみの減量化を推進していくため、各家庭から出される生ごみを減らす方策として、生ごみ処理機を普及させる必要があり事業を継続する。

事業の課内優先度 A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない

委員会意見
 生ごみ処理容器の活用は可燃ゴミの減量化に最も有効な手段であるため、取扱店を増やすなど販路拡大の努力が必要です。また、住民の堆肥化が難しいという声を聞くので、講習会や出前講座を積極的に実施していただきたい。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 a a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が a a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか a a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ a a a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か a a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か a a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 b a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 a a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 a a a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 b b a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 a a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 4	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 a a a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 a a a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い a a a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 b b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 4	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 b b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 a a a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.8 総合評価 4 4	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 地番の枝番が1000番台を超え、本町で住居表示の緊急性があった新山・杉並台地区で住居表示が実施できたこと。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 1 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合)	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-------	---	--	--

上記の方向をとる理由及び展開方針
 事業はまだ始まったばかりであり、見直しの比較対象となる事由が存在しない。市街化区域全体を住居表示するという目標を達成するためには、今後も事業を継続していく必要がある。

事業の課内優先度 A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 全体的な計画の中でどこまで達成されたかが分かるような指標を工夫すべきです。また当該事業は基本的には推進するしか道がない事業であり、外部評価の対象としての妥当性にはやや疑問が残ります。都市型まちづくりの基本条件として、区画整理の整備とともに本事業は必要性が高まっています。本事業は、住民にとって住みやすい町になるものです。

【Check】 事務事業の評価（「評価」欄：非常に高い＝「4」、中程度より高い＝「3」、中程度より低い＝「2」、非常に低い＝「1」）

個別評価	(1)妥当性の評価 (1～4)評価 3 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値（上記評価結果を自動計算した値）	b	b	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	b	b	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	b	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	b	b	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	b	b	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	b	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1～4)評価 3 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値（上記評価結果を自動計算した値）	b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	a	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
a	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1～4)評価 4 4	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値（上記評価結果を自動計算した値）	a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1～4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値（上記評価結果を自動計算した値）	b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1～4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値（上記評価結果を自動計算した値）	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.2 総合評価 3 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) "さんふれあ"や"JAのまんま3号店"の開設により、すぎなみフェスタが本来目的としている農業振興を図るうえで、環境の変化が生じてきているのは事実であり、更には、福祉・保健等の総合イベントとしての色合いも濃くなってきている。ただ、本フェスタの平成19年度における来場者については、達成率が80%となっており、これまで投入された経費の費用効果及び成果の達成度としてはある程度の効果を上げたものと思われる。よって、これらのことを総合的に判断した結果、評価を「3」とした。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>現状で継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>見直して継続</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>廃止又は休止</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>終了又は完了</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	1	現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大	c	2	見直して継続	b 統合	3	廃止又は休止	c 方法の改善	4	終了又は完了	d 民間の活用			e 縮小
1	現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大		c													
2	見直して継続		b 統合															
3	廃止又は休止		c 方法の改善															
4	終了又は完了		d 民間の活用															
		e 縮小																

上記の方向をとる理由及び展開方針
 農産物の直売所"さんふれあ"やJAのきくちのまんま3号店"の開設により、農業振興を図るうえでの環境の変化が生じてきているのは事実である。ただ、本事業については、既に町の重要なイベントとして確立されており、規模を縮小していくことについてはかなりの影響が出るものと予想される。そのため、今後とも現状での継続が妥当と思われる。

事業の課内優先度
 A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 町民へのPRをもっとして参加者を増やすことが重要です。各イベント担当ごと(保健、社会福祉など)にPRすることも良いのではないのでしょうか。町全体のPRにも役立つので、町民へのお知らせを徹底していただきたい。目的・目標に沿った運営方法、住民が関心や魅力をもって参加できるような創意工夫が望まれます。

【Check】 事務事業の評価（「評価」欄：非常に高い＝「4」、中程度より高い＝「3」、中程度より低い＝「2」、非常に低い＝「1」）

個別評価	(1)妥当性の評価 (1～4)評価 3 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値（上記評価結果を自動計算した値）
	(2)貢献度の評価 (1～4)評価 3 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値（上記評価結果を自動計算した値）
	(3)有効性の評価 (1～4)評価 3 4	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値（上記評価結果を自動計算した値）
	(4)効率性の評価 (1～4)評価 2 4	投入された経費（総事業費）に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値（上記評価結果を自動計算した値）
	(5)地域性の評価 (1～4)評価 3 4	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> a a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 3 参考値（上記評価結果を自動計算した値）
単純平均 2.8 総合評価 3 4	総合評価判断理由 （事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること） コスト削減の努力については、花苗の購入金額の問題であり、難しい。入札制の導入も検討の余地がある。購入先の生産者との調整の中で質の良い花苗の配布への努力については、今後の課題である。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 （「2」を選択した場合）	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	c
-------	--	---	--	----------

上記の方向をとる理由及び展開方針
 道路沿線の緑化推進の面から考えても当然貢献度としては、非常に高く、また、学校・福祉・保育施設を見ても同様の事が考えられる。

事業の課内優先度 A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない

委員会意見
 花いっぱい運動を今後も引き続き行っていく必要があると考えますが、苗を配布するのではなく種から育てるなど、住民の理解と協力を得ながら、コスト削減を図る必要があります。
 また、例えば花いっぱい運動と美化活動を同時に行うことなどにより、成果指標の達成率の向上を図る努力も必要です。

評価対象年度	事務事業評価表					整理番号	- 2 [2] (6)		
平成19年度									
担当課名称	建設課				課長名	平野 誠也			
事務事業の名称	公営住宅維持・管理事業				事業期間	～ 永年			
新規・継続の別	2	1 新規	2 継続	臨時・経常の別	3	1 単年臨時	2 時限臨時	3 経常	
総合計画の体系	目指す町の姿	- 2 快適でゆとりを持って暮らせるまち			基本施策	[2] 快適な生活環境の整備			
	主要施策	(6) 住宅施策の推進			事務事業の名称	公営住宅維持・管理事業			
予算科目	款	8 土木費			項	4 住宅費			
	目	1 住宅管理費			事業				
事務区分	2	1 法定受託事務 2 自治事務		根拠法令等	公営住宅法、町営住宅条例				

[Plan・Do] 目的・目標に沿った事務事業の実施

事業の目的	対象(誰を・何を・課題を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	住宅に困窮する低額所得者への住宅の提供	健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、低廉な家賃で賃貸することにより、住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。
目的達成の方法(どんな方法で事業目的を達成するのか記入する)	常に町営住宅の状況に留意し、その管理を適正かつ合理的に行うように努める。住宅入居申込者の把握、大津警察署との連携による町営住宅における暴力団員排除、入居者の家賃決定のための収入申告提出指導、家賃滞納者への督促等納付指導、各団地管理人との連携、住宅施設設備の保守(修繕)による住宅環境の維持、不法不当行為、迷惑行為の排除による安全安心な住宅環境の維持	

指 標		平成19年度(実績)			平成20年度	平成21年度	平成22年度 (総合計画最終年度)	平成23年度
事業の実績(活動指標)	単位	目 標	実 績	達成率	目 標	目 標	目 標	目 標
	修繕箇所数	件	82	82	100.0%	80	80	80
事業の目的の成果を測る指標(成果指標)		単位	目 標	実 績	達成率	目 標	目 標	目 標
右欄(下げる指標は「下」と記入する)	公営住宅入居率	%	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0
成果指標の設定理由 =====> (上記指標を成果指標として設定した理由を記入すること)		事務事業の目的である、健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し維持管理するために、住宅に損傷や故障がある場合には、修繕が必要となるため、成果指標として設定した。						

各年度のコスト(千円)		平成19年度(実績)		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
事業費	区 分	予 算	実 績	予 算	計 画	計 画	計 画	
	国・県支出金	316	316	6,510	6,510	6,510	6,510	
	起債							
	その他							
	一般財源	10,654	10,359	734	734	734	734	
合 計		10,970	10,675	7,244	7,244	7,244	7,244	
<設定単価> (年6,500千円) (年1,200千円) (年間1,936時間)	区 分	計画時間	実績時間	金額	計画時間	計画時間	計画時間	
	人件費	常勤職員	2,014	2,022	6,789	2,014	2,014	2,014
		非常勤等			0			
区 分		目 標	実 績	目 標	目 標	目 標	目 標	
総 事 業 費		17,732	17,464	14,006	14,006	14,006	14,006	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>c</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	a	c	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	a	c	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	a	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	b	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
a	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	b	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.4 総合評価 3 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 住宅入居申込者が団地によっては入居まで5~6年待ちの現状である。地域改善むけ住宅の家賃をH19年度から応能応益家賃に設定したことによる、滞納者の増加や以前からの家賃滞納者の問題住宅施設・設備の修繕箇所の増加。以上の理由により「3」とした。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr><td>2</td><td>1 現状で継続</td></tr> <tr><td>2</td><td>2 見直して継続</td></tr> <tr><td></td><td>3 廃止又は休止</td></tr> <tr><td></td><td>4 終了又は完了</td></tr> </table> (「2」を選択した場合)	2	1 現状で継続	2	2 見直して継続		3 廃止又は休止		4 終了又は完了	<table border="1"> <tr><td>a</td><td>拡大</td></tr> <tr><td>b</td><td>統合</td></tr> <tr><td>c</td><td>方法の改善</td></tr> <tr><td>d</td><td>民間の活用</td></tr> <tr><td>e</td><td>縮小</td></tr> </table>	a	拡大	b	統合	c	方法の改善	d	民間の活用	e	縮小
2	1 現状で継続																			
2	2 見直して継続																			
	3 廃止又は休止																			
	4 終了又は完了																			
a	拡大																			
b	統合																			
c	方法の改善																			
d	民間の活用																			
e	縮小																			
上記の方向をとる理由及び展開方針	町営住宅入居申込者が団地によっては入居まで5~6年待ちの現状である。一方実際に入居申込者に入居の順番が来た連絡をする段階で、転居等で連絡先の特定が困難だったり、申し込み当初の事情と違って入居辞退される事例が多々見受けられ、募集方法の見直しが必要。家賃滞納者への納付勧奨の強化や、明け渡し請求等の検討も必要。住宅の施設・設備については、必要な箇所の修繕をし、引き続き住宅環境の維持に努めることとする。																			
事業の課内優先度	A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない																			
委員会意見	公営住宅法が改正され、民間の住宅を借り上げて公営住宅に活用できるようになっています。今後は、行政が住宅を建築するのではなく、家賃を助成するなどして、ストック管理を伴わないような方法も検討する必要があります。 また、老朽化した団地の建て替えには、PFI(注9)制度を利用するなど、財政負担を平準化する方策の検討も必要です。																			

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 3 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	b	b	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	b	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	b	b	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	b	b	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	b	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 3 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	b	b	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	a	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	b	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
b	b	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
a	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
b	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 2 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	c	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
c	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 2.8 総合評価 3 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 緑化を推進するために、この制度は貢献しているが、コスト削減の可能性が無いため相互評価を「3」とした。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>1 現状で継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">C C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>2 見直して継続</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 廃止又は休止</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 終了又は完了</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大	C C	2	2 見直して継続	b 統合		3 廃止又は休止	c 方法の改善		4 終了又は完了	d 民間の活用			e 縮小
2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大		C C													
2	2 見直して継続		b 統合															
	3 廃止又は休止		c 方法の改善															
	4 終了又は完了		d 民間の活用															
		e 縮小																

上記の方向をとる理由及び展開方針
 見直しを必要とするのは、商工振興課では商業、工業、企業誘致、観光を手がけており、事務見直しで緑化については他課でお願いしたい。

事業の課内優先度 A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 申請があれば、漠然と補助をするのではなく、菊陽町の目標緑化率を定めるなど、基本的な考え方や目標を定めて事業を推進することを望みます。
 また、事業の趣旨を再認識する必要があると考えます。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> a a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 4	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> a a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> a a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> b a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> a a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <input type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 3.6 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 本町は、公立幼稚園を有しておらず、公立保育園での就学前保育を行っている。しかし、近年の人口、幼児数の増加や共働き世帯の増加により公立保育園だけでは全体をカバーできない状態にある。一方で、私立幼稚園に就園する場合、その保育料が高額となるため、保護者の経済的負担を軽減するとともに就学前教育の振興を図るために当該事業は意義深いものである。よって総合評価を「4」とする。	

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	1 現状で継続 <input type="checkbox"/> 1 2 見直して継続 <input type="checkbox"/> 1 3 廃止又は休止 (「2」を選択した場合) 4 終了又は完了	a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小	<input type="checkbox"/>
-------	--	--	--------------------------

上記の方向をとる理由及び展開方針
 国支出金があること、また、少子化対策、就学前教育の振興のために必要である。

事業の課内優先度 A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない

委員会意見
 成果指標については、就園園児数だけでなく、アンケートを実施するなどして保護者の負担軽減に対する満足度なども設定すべきです。
 人口の増加に伴い私立幼稚園を増やすことも検討する必要があるのではないのでしょうか。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	b	b
	a	b												
	a	b												
	a	b												
	a	b												
a	b													
b	b													
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 3 2	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td></tr></table> a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>c</td></tr></table> a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	b	a	b	c	b	b	b	b			
a	b													
b	a													
b	c													
b	b													
b	b													
(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a	b									
a	b													
a	b													
(4)効率性の評価 (1~4)評価 2 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>b</td></tr></table> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	c	b	b	b							
b	b													
c	b													
b	b													
(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a	b									
a	b													
a	b													
単純平均 3.4 総合評価 3 3	総合評価判断理由 (事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 事業に参加した生徒は、帰国後、学校や地域で、オーストラリアでの体験を話し、異文化体験を広く伝えている。また、事業に参加することで得るものは大きく、生徒の人生観、進路にも大きな影響を与え、十分な成果が上がっている。しかし、効率性の点では、負担も大きく事業の在り方や期間などの見直しを行いながら継続していきたい。よって、総合評価を「3」とする。													

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>1 現状で継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>2 見直して継続</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 廃止又は休止</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 終了又は完了</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大	c	2	2 見直して継続	b 統合		3 廃止又は休止	c 方法の改善		4 終了又は完了	d 民間の活用			e 縮小
2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大		c													
2	2 見直して継続		b 統合															
	3 廃止又は休止		c 方法の改善															
	4 終了又は完了		d 民間の活用															
		e 縮小																

上記の方向をとる理由及び展開方針
 今後も本事業を通して、町の次代を担う中学生をより多く派遣することにより、よりよい国際交流を行うとともに、国際感豊かな人材の育成を目指し、事業を実施していきたい。

事業の課内優先度 A A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない

委員会意見
 派遣する生徒の選考方法を検討する必要があります。また、派遣された生徒のその後の進路等について追跡調査をしてみたいかがでしょうか。
 海外にも事業所を持つ町内企業と連携した事業展開を検討してはいかがでしょうか。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 3 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	b	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	a	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	b	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	b	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
a	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
b	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	b	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	b	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
a	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
b	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	b	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 4 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
a	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 3 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
b	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.6 総合評価 3 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 中学校の英語授業での活用だけでなく、保育園、小学校での英語教育や国際交流、また、町民センターでの英会話教室で講師としても活躍しており、広く国際理解・交流の推進に寄与している。ただし、効率性を見直す場合、民間委託等の方法の改善も必要だと考える。よって、総合評価を「3」とする。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>1 現状で継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>2 見直して継続</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 廃止又は休止</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 終了又は完了</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大	C	2	2 見直して継続	b 統合		3 廃止又は休止	c 方法の改善		4 終了又は完了	d 民間の活用			e 縮小
2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大		C													
2	2 見直して継続		b 統合															
	3 廃止又は休止		c 方法の改善															
	4 終了又は完了		d 民間の活用															
		e 縮小																
上記の方向をとる理由及び展開方針	今日の国際化社会の中、英語力の向上、定着の必要性は益々増大しており、住民ニーズも高まっている。本事業も定着してきており、今後は民間委託等の事業運用方法の改善を検討することで事業の効率化、スリム化を図っていきたい。																	
事業の課内優先度	A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない																	
委員会意見	子どもの国際交流の機会として、今後も事業を継続することを望みます。 外国人指導助手(ALT)に加えて、民間企業を活用した招致など幅広い検討が望ましいと考えます。																	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 3 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	b	b	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	b	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	b	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	b	b	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	b	b	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	b	b	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	b	b	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
b	b	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 2 2	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>c</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	b	b	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	c	c	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	b	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
b	b	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
b	b	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
c	c	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
b	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>a</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	c	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
a	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
c	a	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 2 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>a</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 1 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	c	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
c	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.6 総合評価 2 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) コストはかからないが、利用者数を増やす工夫をしなければならないと思われる。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>1 現状で継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">e</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>2 見直して継続</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 廃止又は休止</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 終了又は完了</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大	e	2	2 見直して継続	b 統合		3 廃止又は休止	c 方法の改善		4 終了又は完了	d 民間の活用			e 縮小
2	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大		e													
2	2 見直して継続		b 統合															
	3 廃止又は休止		c 方法の改善															
	4 終了又は完了		d 民間の活用															
		e 縮小																
上記の方向をとる理由及び展開方針	まちづくり大学は、図書館の利用を目的に設立されたと聞いているが、現在、図書館の利用は多く目的は達しているにて回数を減らす。(経費削減)																	
事業の課内優先度	C A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない																	
委員会意見	広報だけでなく、各区の掲示板へのポスターチラシ等の掲示など、事業の周知徹底を図って参加者を増やす努力が必要です。また、魅力的な内容を企画する必要があります。 事業の目的を明確にし、住民の関心を高めるための広報活動を心がけてください。 他の講演会事業等との重複があるので、事業の縮小が妥当と考えます。(年2回 1回)																	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 3 3	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a	a	b	b	a	a	a	a	b	b
	a	a												
	a	a												
	b	b												
	a	a												
a	a													
b	b													
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 2 3	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>b</td><td>a</td></tr></table> a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	b	b	b	b	a	a	b	a			
a	a													
b	b													
b	b													
a	a													
b	a													
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	b	b									
b	b													
b	b													
(4)効率性の評価 (1~4)評価 2 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>c</td></tr></table> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td></tr></table> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	c	c	a	b							
b	b													
c	c													
a	b													
(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td></tr></table> a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td></tr></table> a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a	a									
b	b													
a	a													
単純平均 2.8 総合評価 3 3	総合評価判断理由 (事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) スポーツクラブきくようの活動について、安定した活動ができており、通常プログラム・その他スポーツ教室の開催など行っているが、会員数が停滞している。													

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</p>	1	→	a 拡大		1	b 統合		c 方法の改善		d 民間の活用		e 縮小
1	→	a 拡大											
1		b 統合											
		c 方法の改善											
		d 民間の活用											
	e 縮小												
上記の方向をとる理由及び展開方針	スポーツクラブきくようの活動も充実してきているが、指導者不足や会員数の停滞などが問題となっており、今後は指導者の育成、町民のニーズにあったプログラムの開設など行う必要がある。												
事業の課内優先度	B A：優先度が高い B：優先度は中程度 C：優先度はあまりない												
委員会意見	指導者の育成強化と、参加者増のため、学校へのPRなどが望まれます。												

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄：非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段が <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	a	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	b	b	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
a	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
b	b	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	a	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
a	a	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
b	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
a	a	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 3 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
b	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 3 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 3 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
b	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 4	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	a	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
b	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
a	a	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.6 総合評価 3 3	総合評価判断理由 (事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) この事業については、活動実績もよく、多くの方・団体が参加されている。しかし、町子ども会加入状況については、新興住宅地区からの登録がなく、南小校区での減少が目立つ。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>1 現状で継続</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>2 見直して継続</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 廃止又は休止</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 終了又は完了</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	1	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大	<input type="checkbox"/>	1	2 見直して継続	b 統合		3 廃止又は休止	c 方法の改善		4 終了又は完了	d 民間の活用			e 縮小
1	1 現状で継続	(「2」を選択した場合)	a 拡大		<input type="checkbox"/>													
1	2 見直して継続		b 統合															
	3 廃止又は休止		c 方法の改善															
	4 終了又は完了		d 民間の活用															
		e 縮小																

上記の方向をとる理由及び展開方針
 この事業については、参加者についても満足されているため、基本的には現状の状態継続する。なお、南小校区については、複数地区合同での登録呼びかけを行い、振興住宅地区についても登録の呼びかけを随時行っていく。

事業の課内優先度 A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない

委員会意見
 子ども会の意義や目的、地域における活動状況からみて、人間形成の基礎ともいえる重要な位置づけの事業です。
 子ども会は是非必要なので、今後も事業を継続してください。

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)		
個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="4"/>	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない 上位施策の目的達成手段が <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない 役割が薄れてないか <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要 住民ニーズ <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない 事業の対象は妥当か <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない 町の関与が必要か <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能 [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(2)貢献度の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="4"/>	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない 事務事業の重複の有無 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 重複事業はない b 同様の重複事業がある 緊急性 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない 取り止めの影響 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない 代替事業の有無 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 代替の事業はない b 代替の事業はある [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(3)有効性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="4"/>	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い 成果向上の可能性 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(4)効率性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/>	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い 事務時間短縮の可能性 <input type="text" value="b"/> <input type="text" value="b"/> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない コスト削減の可能性 <input type="text" value="c"/> <input type="text" value="b"/> a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
	(5)地域性の評価 (1~4)評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="3"/>	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="b"/> a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない 町にとっての必要性 <input type="text" value="a"/> <input type="text" value="a"/> a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)
単純平均 <input type="text" value="3.6"/> 総合評価 <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="4"/>	総合評価判断理由 (事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 図書資料の収集や情報の提供も目標に対し90%以上を達成している。また、ボランティアの育成に関しても毎年ステップアップ講座を開催し、スキルアップを図ってもらい図書館の利用者へ大きく還元をしている。	
【Action・Plan】 今後の事務事業の方向		
今後の方向 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/>	1 現状で継続 2 見直して継続 3 廃止又は休止 4 終了又は完了 (「2」を選択した場合) a 拡大 b 統合 c 方法の改善 d 民間の活用 e 縮小 <input type="text" value="c"/>	
上記の方向をとる理由及び展開方針	図書館の役割としては「人を育てる」と言うことが大きな目標となっており、図書館を利用し自己のスキルアップあるいは親子のつながり、そしてそれを支えるボランティアの活動と育成を継続的に行い、その役割を果たしているところであるため、今後も引き続き図書館の運営を継続していく。	
事業の課内優先度	A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない	
委員会意見	住民ニーズを調査し開館時間延長を再検討してください。 利用者の地域間格差、青少年の利用状況を調査し、存在感があり、町民に利用しやすい図書館となることを望みます。	

【Check】 事務事業の評価 (「評価」欄 : 非常に高い=「4」、中程度より高い=「3」、中程度より低い=「2」、非常に低い=「1」)

個別評価	(1)妥当性の評価 (1~4)評価 4 4	事務事業の対象や目的が妥当であるか？ 上位施策との目的関連性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない</td></tr></table> 上位施策の目的達成手段か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない</td></tr></table> 役割が薄れてないか <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要</td></tr></table> 住民ニーズ <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない</td></tr></table> 事業の対象は妥当か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない</td></tr></table> 町の関与が必要か <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない	a	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない	a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能
	a	a	a 関連性が高い b ある程度関連性がある c 関連性がない																	
	a	a	a 目的達成手段である b ある程度手段である c 手段ではない																	
	a	a	a 薄れていない b ある程度薄れている c 目的達成のため見直し必要																	
	a	a	a ニーズが十分にある b ニーズがある程度ある c ニーズはない																	
a	a	a 妥当である b ある程度妥当である c 妥当でない																		
a	a	a 町での実施が必要 b 町以外でも実施可能																		
(2)貢献度の評価 (1~4)評価 4 4	主要施策に対して貢献しているか？ 事務事業を取り止めたとき影響があるか？ 上位施策への貢献度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない</td></tr></table> 事務事業の重複の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 重複事業はない b 同様の重複事業がある</td></tr></table> 緊急性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない</td></tr></table> 取り止めの影響 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない</td></tr></table> 代替事業の有無 <table border="1"><tr><td>a</td><td>a</td><td>a 代替の事業はない b 代替の事業はある</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	a	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない	a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある	a	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない	a	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない	a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある				
a	a	a 貢献度が高い b ある程度貢献度がある c 貢献していない																		
a	a	a 重複事業はない b 同様の重複事業がある																		
a	b	a 緊急性は非常に高い b 緊急性はある程度ある c 緊急性はない																		
a	b	a 影響は非常に大きい b 影響はある程度ある c 影響はない																		
a	a	a 代替の事業はない b 代替の事業はある																		
(3)有効性の評価 (1~4)評価 4 3	成果指標から判断して成果をあげているか？ 成果の達成度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い</td></tr></table> 成果向上の可能性 <table border="1"><tr><td>b</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い	b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない													
a	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はある程度ある c 達成度は低い																		
b	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(4)効率性の評価 (1~4)評価 2 3	投入された経費(総事業費)に見合った結果が得られているか？ 費用対効果の度合い <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い</td></tr></table> 事務時間短縮の可能性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> コスト削減の可能性 <table border="1"><tr><td>c</td><td>b</td><td>a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 2 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い	c	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない	c	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない										
a	b	a 費用対効果は高い b ある程度ある c 費用対効果は低い																		
c	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
c	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はない																		
(5)地域性の評価 (1~4)評価 4 3	菊陽町らしさが反映されているか？ 町らしさの反映度 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない</td></tr></table> 町にとっての必要性 <table border="1"><tr><td>a</td><td>b</td><td>a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない</td></tr></table> [説明] 個別評価平均 4 参考値 (上記評価結果を自動計算した値)	a	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない	a	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない													
a	b	a 十分に反映している b ある程度反映している c 反映していない																		
a	b	a 非常に必要である b ある程度必要である c 必要ではない																		
単純平均 3.6 総合評価 4 3	総合評価判断理由(事務事業の成果、問題などを具体的に示し、総合評価に至った理由を記入すること) 目標も十分に達成しているが、催事によっては複数の専門技術員が必要となり、使用料に跳ね返り、高いとの不満があった。																			

【Action・Plan】 今後の事務事業の方向

今後の方向	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(「2」を選択した場合)</td> <td>a 拡大</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">c</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>b 統合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>c 方法の改善</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>d 民間の活用</td> </tr> <tr> <td></td> <td>e 縮小</td> </tr> </table>	1	(「2」を選択した場合)	a 拡大	c	2	b 統合	3	c 方法の改善	4	d 民間の活用		e 縮小
1	(「2」を選択した場合)	a 拡大		c									
2		b 統合											
3		c 方法の改善											
4		d 民間の活用											
	e 縮小												
上記の方向をとる理由及び展開方針	正規の担当職員が1人のため外部の専門技術者を依頼しているが、催事によっては利用者の負担もあり、使用料の問題がある。ボランティアでの対応を言われるが、音響・照明は催事当日だけでは動かせず、当日だけのボランティアでは質の高い運営は望めない。それ故、受付、打合せ、準備・リハーサル、そして本番という部分をボランティアでやれるかは難しい点である。使用料が高くなると言う不満は、一つの催事に数日の準備等が必要とするため、現在、音響・照明に関して非常に高評価を得ているので、是非正規職員の増員で対応したい(対応してほしい)												
事業の課内優先度	A A : 優先度が高い B : 優先度は中程度 C : 優先度はあまりない												
委員会意見	機械操作を専門業者ではなく自前で行うなどし、稼働率を上げる工夫が必要です。 また、ボランティア等を育成するなどして、町民の協力を仰ぎながら運営してみてもどうでしょうか。												